

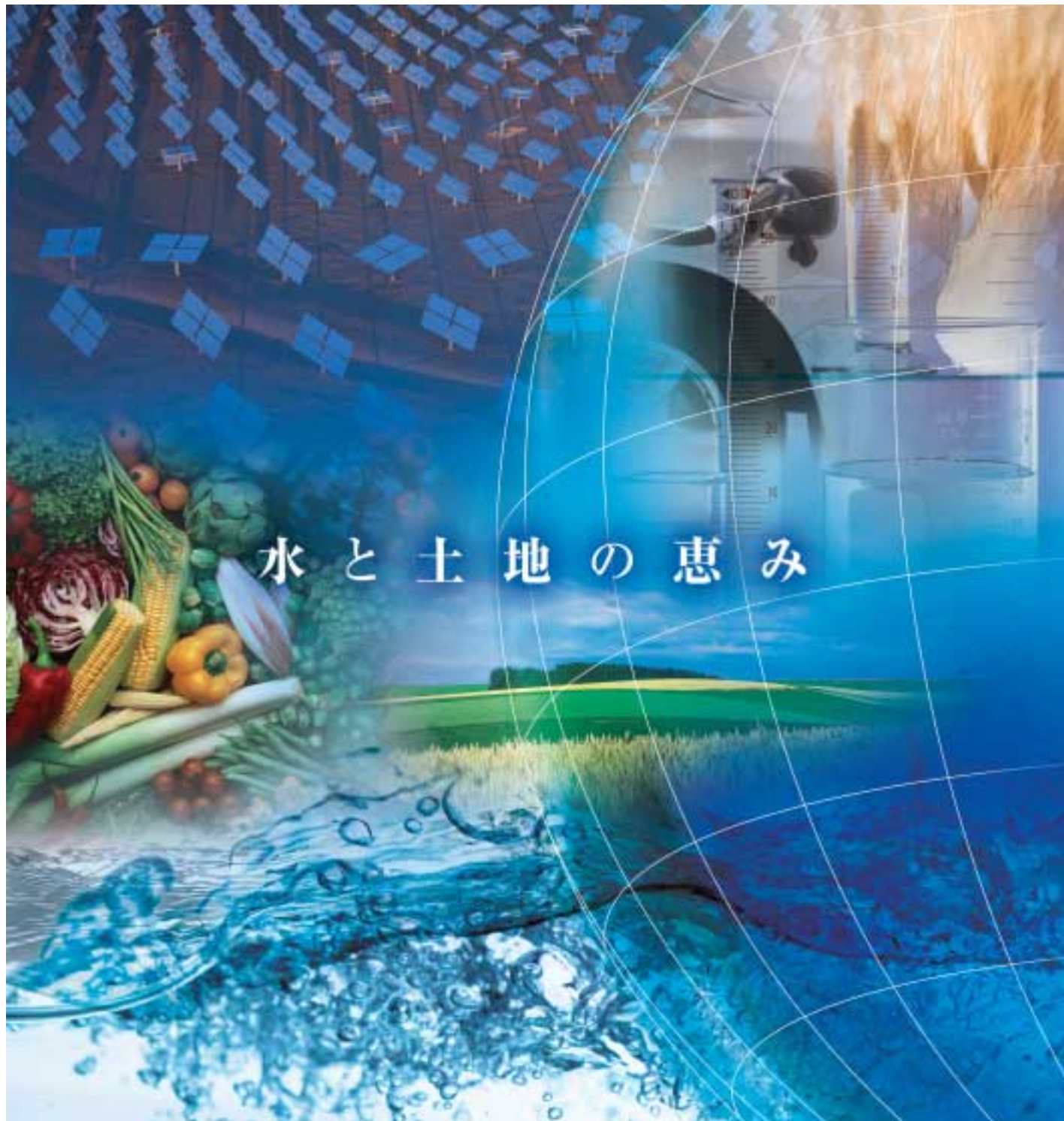
愛称

# ライジング・トゥモロー

## 日興・DWS・ニュー・リソース・ファンド

追加型投信 / 内外 / 株式

課税上は株式投資信託として取扱われます。



水と土地の恵み

お申込みの際は投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

投資信託説明書(目論見書)のご請求・お申込みは



日興コーディアル証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号  
加入協会:日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、  
社団法人金融先物取引業協会

設定・運用は

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社



ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号  
加入協会:社団法人投資信託協会、  
社団法人日本証券投資顧問業協会

## ファンドの特色

当ファンドは、ニュー・リソース・マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。

**1** グローバルな需要のシフト(変化・増大)から、今後成長が期待される3つのテーマ\*に関連する企業の株式を中心に投資を行います。

3つのテーマとは...



\* 投資対象銘柄がいずれのテーマに関連するかの判断はDWSの裁量によります。

**2** 3つのテーマ(水、農業、代替エネルギー)を同時にカバーする日本初\*のファンドです。

\* ドイチェ・アセット・マネジメント(株)調べによる(2006年11月時点)。

**3** マザーファンドに係る運用指図に関する権限を、DWSに委託します。\*1

DWSは、ドイチェ・アセット・マネジメント・グループのリテールビジネスを担うドイツ最大\*2の投資信託会社グループです。

\*1 当ファンドは、委託会社が、DWSの一員であるDWSインベストメントGmbHにマザーファンドの運用の委託を行う国内公募投資信託です。

\*2 後記「DWSについて」をご参照下さい。

**4** 実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

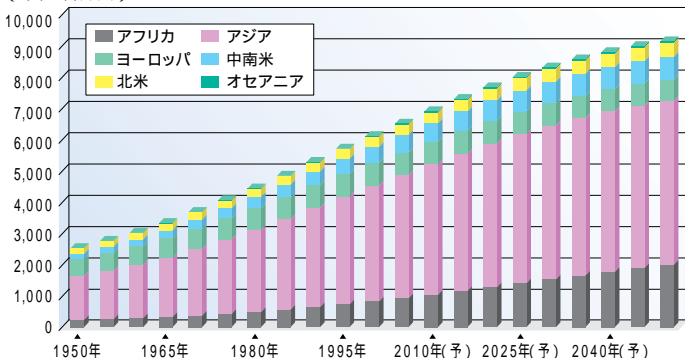
市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 今世界で起きていること

世界的な人口増加、エマージング諸国の経済成長等が、「水」「食物」「エネルギー」のあり方を大きく変化させ始めています。

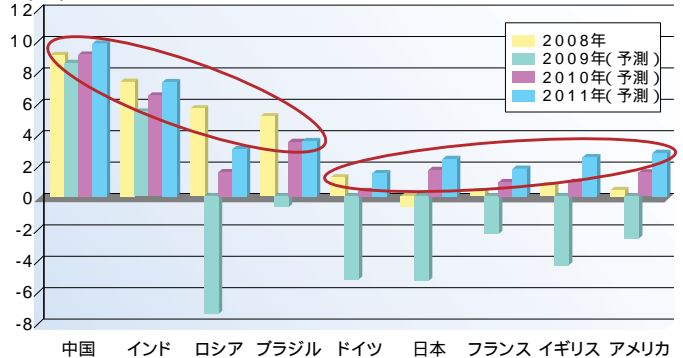
世界の人口の推移と推計

(単位:百万人)



BRICs諸国と先進主要国のGDP成長率比較

(%)



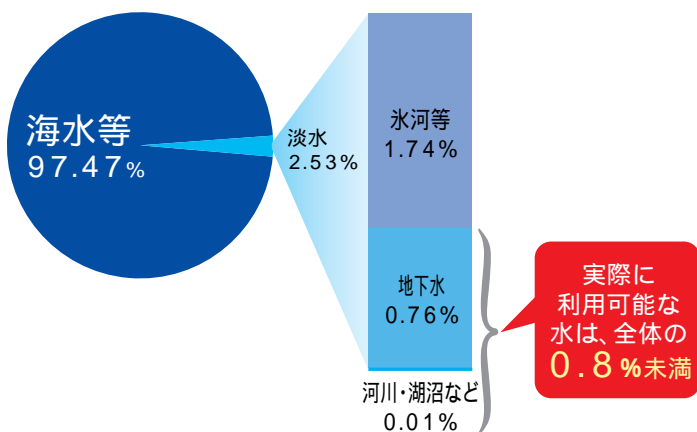
データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

## テーマ①:「水」

地球上に存在する水のうち、実際に利用可能な水はわずか0.8%未満にすぎません。人口増大やエマージング諸国の経済成長に伴い、今後水の需要が大幅に増加することが予想されています。

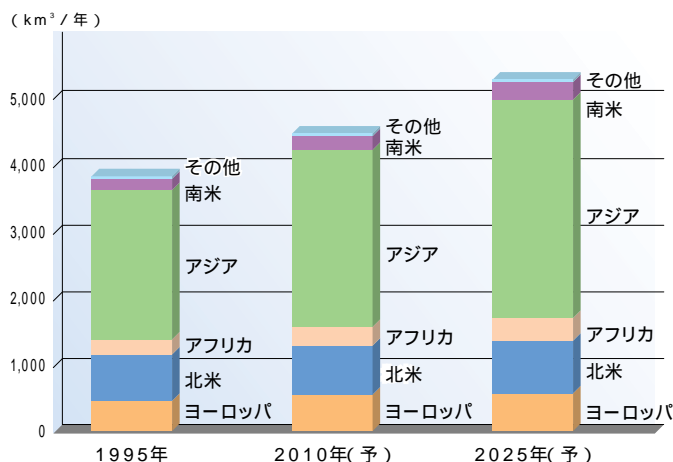
飲用だけではなく、食糧生産にも、工業生産にも良質な水は不可欠です。また、経済成長による産業廃水や生活廃水の処理も課題となっており、あらゆる面で良質な水を提供するインフラ・浄化技術などを持つ企業が注目されています。

地球上に存在する水の割合



出所: World Water Resources at the Beginning of 21st Century: I.A.Shiklomanov and John C.Rodda, 2003 をもとに国土交通省水資源部作成。南極大陸の地下水は含まれていない。(端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。)

世界の水の需要量の予測



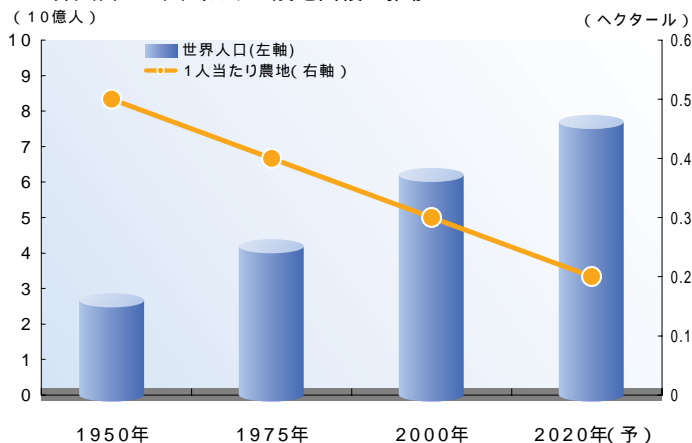
出所: UNESCO「World Water Resources at the beginning of the 21<sup>st</sup> Century」2004年

## テーマ②:「農業」

世界的な人口増加と、中国やインド等における経済発展に伴う生活水準の向上が、世界レベルで食糧消費量の増大につながります。例えば、世界一の穀物生産量を誇る中国は、経済発展に伴い近年穀物輸入国に転じつつあります。

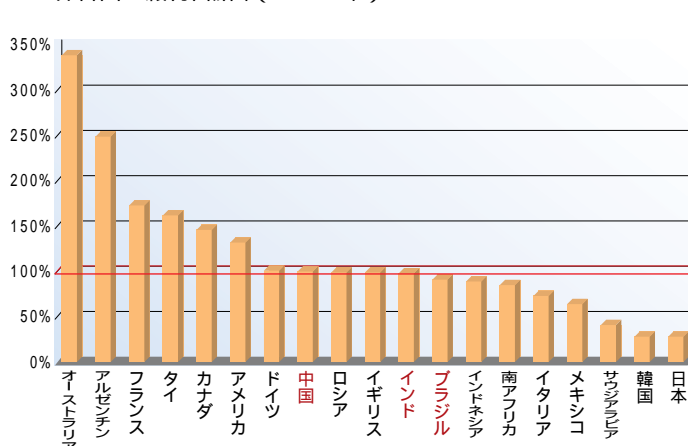
世界人口が増加する一方で、一人当たりの農地面積は減少するため、食糧の効率的な生産を可能にする技術を持つ企業が注目されています。

世界人口と一人当たりの農地面積の推移



出所: リーマン・ブラザーズ 2005年

世界各国の穀物自給率(2003年)

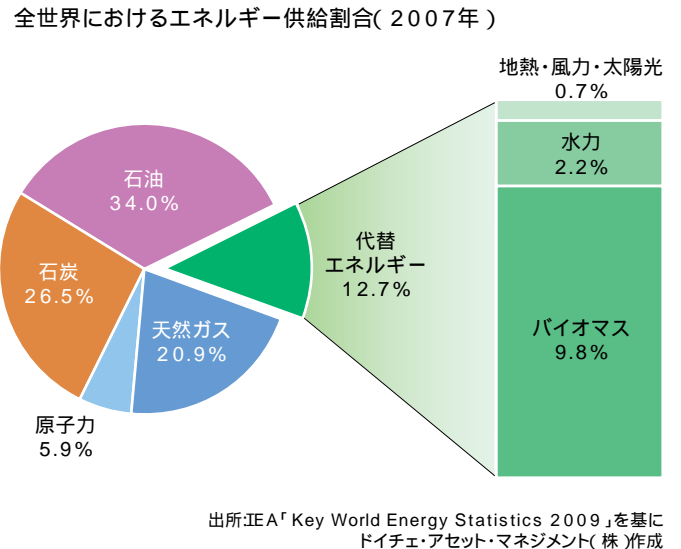
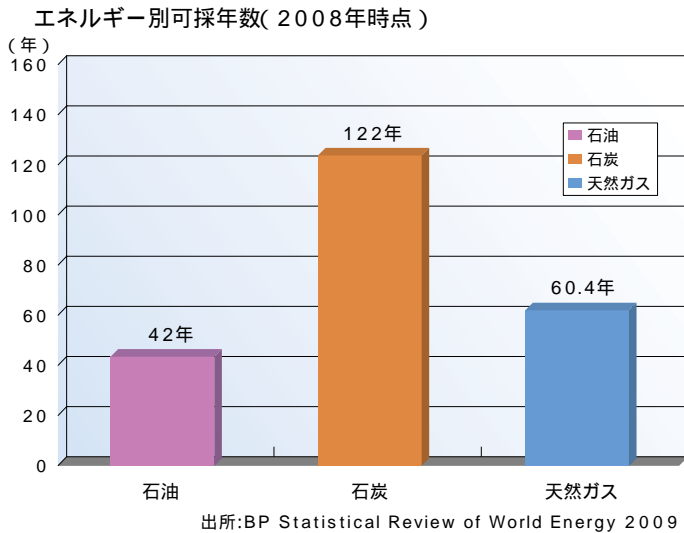


出所: FAOSTAT「Food Balance Sheets」(2006年6月20日現在)資料を基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)作成

データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

## テーマ③：「代替エネルギー」

今、世界のエネルギー供給の約80%を、石油・石炭・天然ガスに依存しています。しかし、これらのエネルギーには限りがあるため、代替エネルギー(太陽光・バイオ・風・水・熱等)の開発・普及が世界中で求められ、それらの技術を持つ企業が注目されています。



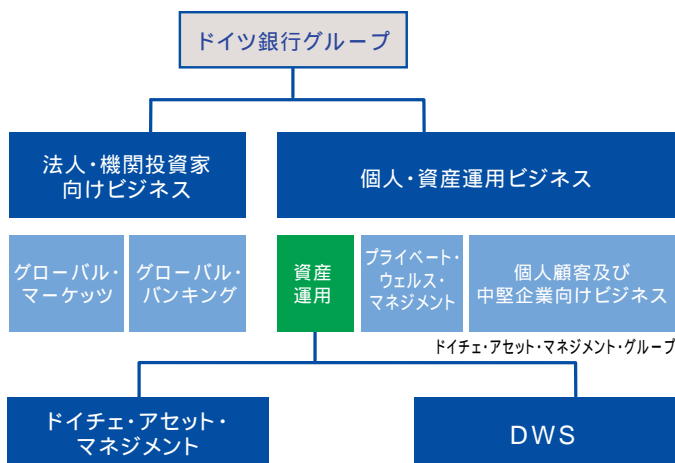
データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

## DWSについて

### ドイツ銀行グループの概要

1870年(明治3年)、ベルリンに誕生  
世界73ヶ国に1,966支店を設け、7万8,530人の従業員を擁する  
総資産約1兆6,600億ユーロにのぼるグローバルな総合金融機関  
ムーディーズよりAa1、スタンダード・アンド・プアーズよりA+、フィッチよりAA-の格付を取得

データはすべて2009年9月末現在。



2010年1月末現在

### DWSの概要

設立:1956年(昭和31年)  
資本金<sup>\*1</sup>:1.15億ユーロ  
従業員<sup>\*1</sup>:ドイツ国内1,000人以上 グローバル<sup>\*2</sup>2,000人以上  
運用ファンド数<sup>\*1</sup>:ヨーロッパ内600本以上 グローバル<sup>\*3</sup>1,000本以上  
運用資産残高:ドイツ国内約1,273億ユーロ<sup>\*4</sup>  
グローバル約2,410億ユーロ<sup>\*5</sup>

\*1 2008年12月末現在

\*2 ドイツ国内を含む

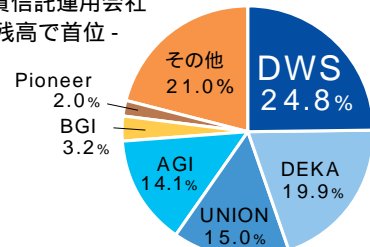
\*3 ヨーロッパ内を含む

\*4 DWSを含めたドイツ銀行グループの資産運用残高ベース(外国籍ファンドを含む)  
2009年6月末現在、出所:ドイツ投資信託協会(BVI)

\*5 ドイツ国内を含む2009年6月末現在

上記設立、資本金はDWSの中核会社であるDWSインベストメントGmbHに関するものです。

ドイツの投資信託運用会社  
- 運用資産残高で首位 -



出所:ドイツ投資信託協会(BVI)、2009年6月末時点  
DWSを含めたドイツ銀行グループの資産運用残高ベース(外国籍ファンドを含む)  
DWS(ディー・ダブリュー・エス)とは、“有価証券の専門家”を意味するドイツ語Die Wertpapier Spezialistenを略したものです。



## ファンドのリスク

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、株式などの値動きのある証券(外貨建資産には、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属することとなります。当ファンドの基準価額は、主に以下のリスクにより変動し、損失を生じるおそれがあります。以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載するものの一部です。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご参照下さい。

### 1. 株価変動リスク

当ファンドは主に株式に投資しますので、ファンドの基準価額は組入れている株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。また、株式の発行者に経営不振もしくは債務不履行等が生じた場合、またはそれらが予想される局面となった場合には、当該株式の価格は大きく下落することがあります(価格がゼロになることもあります。)。このような場合には、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

### 2. 為替変動リスク

当ファンドは主に外国の株式に投資しますので、ファンドの基準価額は、当該外貨建資産の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。為替変動リスクとは、外国為替相場の変動により外貨建資産の価格が変動するリスクをいいます。外貨建資産の価格は、通常、当該外国通貨に対し円安になれば上昇しますが、円高になれば下落します。したがって、外貨建資産の価格が下落した場合には、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

### 3. カントリーリスク

発行国の政治、経済、社会情勢の変化により、金融・証券市場が混乱し、証券価格が大きく変動する可能性があります。またエマージング・マーケット(新興国市場)に投資する場合には、一般に先進諸国の証券市場に比べ、市場規模、証券取引量が小さく、法制度(証券市場の法制度、政府の規制、税制、外国への送金規制等)やインフラストラクチャーが未発達であり、低い流動性、高い価格変動性、並びに決済の低い効率性が考えられます。なお、企業情報の開示等の基準が先進諸国と異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分確保できないことがあります。このように、エマージング・マーケットは先進諸国の証券市場に比べカントリーリスクが高くなり、これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

### 4. 信用リスク

投資した株式について、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化は価格下落要因のひとつであり、これによりファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

「日興・DWS・ニュー・リソース・ファンド(愛称:ライジング・トゥモロー)」は、主に外国の株式を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替の変動により損失を被ることがあります。

# ご投資の手引き

## お申込みについて

取得申込みの受付	原則として、販売会社の営業日の午後3時( 半日営業日は午前11時 )までに取得申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。ただし、フランクフルト証券取引所の休業日またはフランクフルトの銀行の休業日には、受付は行いません。
申込価額	取得申込受付日の翌営業日の基準価額
申込単位	1万円以上1円単位

## 信託期間中について

信託期間	信託設定日(平成18年12月20日)から無期限 ただし、残存口数が50億口を下回るようになった場合等には、信託を終了させていただくことがあります。
決算日	年1回(原則として12月10日)とします。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日を決算日とします。
収益分配	毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 自動けいぞく投資コースを選択の場合、原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。なお、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出下さい。分配金のお受取りをご希望される場合、販売会社の定める所定の日よりお支払いいたします。

## ご換金について

換金の受付	原則として、販売会社の営業日の午後3時( 半日営業日は午前11時 )までに換金請求が行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。ただし、フランクフルト証券取引所の休業日またはフランクフルトの銀行の休業日には、受付は行いません。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	1口単位(金額指定の場合は、1万円以上1円単位)
換金代金支払日	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。 (注)受益権の買取りによる換金については、販売会社にお問合せ下さい。

## 課税関係

原則として、分配時の普通分配金ならびに解約時及び償還時の差益に対して課税されます。  
(注)法人受益者の場合は税制が異なります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。

## 投資家の皆様が負担する費用

時期	項目	費用
<直接ご負担いただく費用>		
申込時	申込手数料	取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、以下の手数料率を乗じて得た額 お申込金額* 手数料率
		1億円未満 3.1500%( 税抜3.00% )
		1億円以上5億円未満 1.5750%( 税抜1.50% )
		5億円以上10億円未満 0.7875%( 税抜0.75% )
		10億円以上 0.5250%( 税抜0.50% )
換金(解約)時	信託財産留保額	ありません。
<ファンドで間接的にご負担いただく費用>		
毎日	信託報酬	信託財産の純資産総額に対し年率1.764%( 税抜1.68% )

この他に、純資産総額に対して年率0.10%を上限として諸費用等(監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用等を含みます。)が信託財産から差し引かれます。また、信託財産の組入価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等についても、別途信託財産が負担します。当該費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。なお、投資家の皆様が負担する費用等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご参照下さい。

\*「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。

収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

\* お申込価額に取得申込口数を乗じて得た額に、お申込手数料と当該手数料に係る消費税等相当額を加算した額です。

## 委託会社、その他の関係法人

委託会社	ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社 信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の作成等を行います。 ホームページアドレス <a href="http://www.damj.co.jp/">http://www.damj.co.jp/</a> フリーダイヤル 0120-442-785(受付時間:営業日の午前9時から午後5時まで)
受託会社	中央三井アセット信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) 信託財産の保管・管理、基準価額の計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指図等を行います。
販売会社	日興コーディアル証券株式会社(投信スーパーセンター) 当ファンドの募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金・償還金及び一部解約金の支払い等を行います。投資信託説明書(目論見書)の提供は、販売会社にて行います。
投資顧問会社	DWSインベストメントGmbH(所在地:ドイツ フランクフルト) 委託会社から運用の指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用指図等を行います。

投資信託のお申込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はおお客様自身の責任においてなさいませうお願い申し上げます。

当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。  
当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。  
当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。  
投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。  
投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。  
投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。  
登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。  
取得のお申込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。